

令和 7 年 5 月 19 日

報道機関 各位

【記者会見】感染症ワクチン・治療用抗体の研究拠点開設について
～次の感染症危機に備える研究開発を強化～

◆本件のポイント

島根大学出雲キャンパスに、新たに「新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センター」の専用研究拠点が開設されました。これにより、次世代ワクチンと治療用抗体の研究開発が大きく進展することが期待されます。

◆本件の概要

当センターは、コロナ禍の2020年4月に設立したコンソーシアム（旭化成（株）、京都大学、長崎大学、三重大学）を経て、感染症研究の中核となる6大学の1つに国から認定され、新型コロナウイルス感染症をはじめとした新興感染症に対するワクチン・治療薬の開発を目的とするセンターとして2022年4月に開設されました。

当センターは「研究開発戦略部門」「ウイルス評価部門」「社会実装部門」の3部門で構成され、専任教員4名に加えて、旭化成株式会社および長崎大学とのクロスアポイントメント制度を活用した教員2名、さらに学内の兼任教員3名が、精力的に研究に取り組んでいます。

これまでは、医学部医学科病態生化学講座の研究室を使用していましたが、このたび当センター専用の研究拠点が完成し、次世代ワクチンと治療用抗体の研究開発の体制が整備されました。

当日は、当センターの取り組みと、普段入ることができない実験室を報道機関の皆様にご紹介したあと、関係者向けのキックオフシンポジウムを開催する予定です。

◆記者会見・内覧会について

- ・開催日時：令和7年5月24日（土）12：00～13：30 頃まで

記者会見 12：00～12：45 頃まで 島根大学医学部 本部棟 5 階大会議室

内覧会 13：00～13：30 頃まで 島根大学医学部 第二共同研究棟 2 階

開所キックオフシンポジウム 14:30 島根大学医学部実習棟 2 階 P2 講義室

- ・出席者：島根大学 学長 大谷 浩（おおたに ひろき）
島根大学 研究・学術情報本部
新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センター
センター長（島根大学医学部長） 石原 俊治（いしはら しゅんじ）
副センター長 浦野 健（うらの たけし）

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学医学部 総務課企画調査係

TEL:0853-20-2018 E-mail:mga-koho[at]office.shimane-u.ac.jp

【添付資料： ■あり（ 2 枚） □なし 】



島根大学 研究・学術情報本部 新興感染症ワクチン・治療用抗体研究 開発センター 開所キックオフシンポジウム

入場無料

事前申込みの必要はありません。どなたでも参加いただけます。

日時: 令和7年5月24日(土) 14時30分 開演

場所: 医学部実習棟2階 P2講義室

— PROGRAM —

はじめに

学長 大谷 浩

(14 : 30 - 14 : 40)

開所説明

浦野 健 (副センター長)

(14 : 40 - 14 : 50)

特別講演

—司会— 石原 俊治 (センター長・医学部長)

● 森田 公一

Kouichi Morita

長崎大学 感染症研究出島特区・特区長

島根大学 新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センター・ウイルス評価部門・教授)

Dejima Infectious Disease Research Alliance (DIDA), Nagasaki University

Center for Vaccines and Therapeutic Antibodies for Emerging Infectious Diseases, Shimane University

演題:「島根大学と長崎大学の連携による感染症研究の推進」

Promotion of infectious disease research through collaboration between Shimane University and Nagasaki University

(15 : 00 - 15 : 45)

● 津本 浩平

Kouhei Tsumoto

東京大学 大学院工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻・教授

医科学研究所 疾患プロテオミクスラボラトリー・教授

Department of Bioengineering, School of Engineering, The University of Tokyo

Institute of Medical Science, The University of Tokyo

演題:「次世代医薬品開発とイノベーション」

Innovation for next generation biomedicine

(15 : 50 - 16 : 35)

国際シンポジウム

—司会— 齋藤 文紀 (研究・学術情報本部 本部長)

● Mya Myat Ngwe Tun

(センター・ウイルス評価部門・准教授／長崎大学)

**「Arbovirus Infections in Asia: Distribution Patterns, Public Health Impact,
and Advances in Vaccine Development」 (Presentation in English)**

(16 : 40 - 17 : 00)

● 勝又 徹

Toru Katsumata

(センター・社会実装部門・准教授／旭化成(株))

「新規医薬品添加剤SONANOS™」

Novel Pharmaceutical Excipients SONANOS™

(17 : 10 - 17 : 30)

● 成相 裕子

Yuko Nariai

(センター・研究開発戦略部門・助教／(株)mAbProtein)

「ヒアルロン酸ナノゲルを用いた安全・安心な新規ワクチン開発」

Hyaluronic acid nanogel to develop new safe vaccines

(17 : 40 - 18 : 00)

おわりに

病院長 椎名 浩昭

(18 : 10 - 18 : 20)

お問合せ先

島根大学 新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センター

<https://www.research-org.shimane-u.ac.jp/vaccine.html>

TEL : (0853) 20 - 2127 / FAX : (0853) 20 - 2125

担当 : 成相 (E-mail nariai@med.shimane-u.ac.jp)

新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センター

【センターの目的】

予測不能な新興感染症の勃発に対して、コールドチェーンを必要とせず、小児にも安心して使用できるデリバリー基材の異なる次世代ワクチン、そして治療用抗体の国内での迅速な研究開発・評価・社会実装を可能とする体制とネットワークを戦略的に構築する。

